

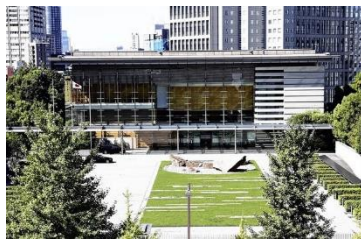


特定社会保険労務士・行政書士 重村 勝弘
 重村行政労務管理事務所
 ご連絡先：〒235-0021
 ：横浜市磯子区岡村 7-8-15-102
 電話・FAX：045-754-3412 携帯：070-5542-1466
 E-mail：shigemura.office@etude.ocn.ne.jp

戦後 77 年経過してようやく総合的な国家安全保障の考え方がでてきた。ウクライナの状況を見ても軍事力はもちろん、民間防衛力も含めた総合力を発揮しなければ国防は成り立たないことがよくわかる。

●政府“総合防衛費”創設を検討 防衛強化に向け海保予算なども計上へ

政府は防衛力を抜本的に強化するため、省庁横断で必要な予算を計上できるようにする「総合防衛費」の創設を検討している。政府は5年後の2027年にはNATO＝北大西洋条約機構の基準に合わせ、対GDP(国内総生産)比で2%となるおよそ10兆円の防衛予算を確保する方向で調整している。政府関係者によると、各省庁にまたがる防衛に資する研究開発費や公共インフラの整備費、海上保安庁の予算を一括で計上できるようにするため「総合的な防衛体制の強化に資する経費」を新たに創設することを検討している。NATO加盟国では、沿岸警備などの予算も計上していることを参考にしている。ただ、海保の予算を含めることを巡っては有事を念頭にした自衛隊との連携訓練が行われていないため「予算の水増しにしか過ぎない」という指摘もある。そのため、年末までにまとめられる安保関連3文書の改定で防衛大臣による統制のあり方などを調整し、海保との連携を深める方針である。また、公共インフラの整備を巡っては台湾有事を念頭にした南西諸島の港湾や空港の整備など自衛隊のニーズを踏まえた協議の場を作ることを検討している。



●海自と海保、尖閣念頭に「武力攻撃事態」想定した初の共同訓練…年度内にも実施へ

政府は、海上自衛隊と海上保安庁の連携を強化するため、日本が攻撃を受けた「武力攻撃事態」を想定した初の共同訓練を今年度内にも実施する方針を固めた。共同訓練の結果を検証したうえで、武力攻撃事態で、防衛相が海保を統制下に置く際の手順などを定めた「統制要領」の策定を進める考えだ。複数の政府関係者が明らかにしたところによる

と、沖縄県・尖閣諸島周辺海域などでの有事を念頭に、海自と海保が切れ目のない対応をとれるようにする狙いがある。政府は、防衛力の抜本的強化に向け、自衛隊に加え、海保の関連予算も大幅に増額し、双方の協力体制を整えることを目指しており、共同訓練は象徴的な取り組みとなる。

海自と海保の共同訓練はこれまで、武力攻撃事態には至らない、自衛隊が治安維持などを担う海上警備行動の発令を想定したものにとどまっていた。国土交通省の外局で法執行機関の海保と、海自は警戒監視の情報共有などは進めているが、指揮命令系統は異なるため、有事を見据え、実戦的な訓練を行う必要性が自民党などから指摘されていた。



訓練では、海保巡視船が相手国の法執行機関の船に対処中に、相手国の軍艦がミサイルを発射するなど、軍事行動に出てきた場合、海自護衛艦と前線を円滑に交代する流れなどを確認するとみられる。海保は避難する住民を輸送したり、漁船などの民間船の安全を確保したりする後方支援を主に担う見通しだ。

首相官邸

自衛隊法80条は武力攻撃事態が発生し、自衛隊に防衛出動などが命じられた際、首相が海保を防衛相の統制下に入れることができると規定している。ただ、この場合に活用される「統制要領」はまだ定まっていない。政府は共同訓練で見つかった課題などを参考に、統制要領を取りまとめることを検討している。

日本の海保に相当する中国海警局は2018年、中国軍を統括する中央軍事委員会の直轄組織である武装警察部隊(武警)の指揮下に入るなど、軍との連携を加速させている。尖閣周辺海域に展開する海警局船の後方には中国海軍艦艇が控え、「衝突に備えた万全の態勢を敷いている」(自衛隊幹部)とされる。

●ワールドカップ日本代表 冴えた采配勝利の戦略

日本代表はワールドカップで4回の優勝を誇るドイツを相手に歴史的な勝利をあげた。

まづは下表をみていただきたい。

日本	項目	ドイツ
24%	ボール支配率	65%
11(3)	シュート数(枠内)	26(8)
14	ファール	6
6	コーナーキック数	6
279(214)	パス数(成功)	827(753)

この表に現れているようにドイツが圧倒的に試合を支配している。

事実、全般は怒濤のようなドイツの攻撃に対して日本は終始守勢に立たされて、ほぼ一方的に攻め込まれる展開が続く、1点を献上した。



後半からのフォーメーションの変更、交代で入った



攻撃的な選手たちが攻撃にリズムを生み出した。

このような森保監督の采配が見事の中し75分に堂安選手が同点ゴールを、83分には浅野選手が勝ち越しゴールをおしこんだ。また、見逃してならないのがドイツの強力なシュートを止め、最優秀選手に選出された権田キーパーの存在である。



今回の歴史的勝利は森保監督の卓越した作戦と特色の応じた選手の起用など名采配により勝利したものと言えよう。



●【W杯】「サムライブルーの惨事」日本の敗戦に海外メディア驚き「衝撃、再び！」「歴史的」

森保一監督率いる日本代表は11月27日、カタール・ワールドカップ(W杯)グループリーグ第2戦で



コスタリカ代表と対戦し、0-1で敗れた。海外メディアが試合結果を速報し、「サムライブルーの惨事」「衝撃、再び！」「歴史的な日」と伝えた。

第1戦」のドイツであのような善戦をおこないながら、このような残念な試合を行ったのか。そこには試合に対する計算が働いたのではないだろうか。

主敵はスペインであり、コスタリカ戦は負けなければよい。無理な試合をして人が人を出しては困る。このような打算が働いたのではないだろうか。

こうなったからにはスペイン戦で勝利するしかないだろう。スペイン戦を制して決勝ラウンドへの進出を期待したい。

●ロッカーぴかぴか、折り鶴とお礼のメッセージ サムライブルー、世界が称賛



サッカーのワールドカップ(W杯)カタール大会の初戦で、強豪ドイツに勝利した日本代表の振る舞いが、世界中の注目を集めている。試合後のロッカールームをぴかぴかに片付け、折り鶴とお礼のメッセージ

を残したサムライブルー。インターネット上に「素晴らしい」「尊敬する」と称賛の声があふれた。

「歴史的勝利の後、彼らはこのようにきれいにして、ロッカールームを後にした」。国際サッカー連盟(FIFA)の公式ツイッターで、日本代表が使った試合後のロッカールームの写真が公表された。備品や水をまとめて置き、ごみ一つ見当たらない様子を「ぴかぴかだ」と表現した。

さらに、折り鶴と、日本語とアラビア語で「ありがとう」と書かれたメッセージの写真とともに「これも彼らの残したものと紹介。「誇らしい」「美しい」など、世界中からメッセージが寄せられている。

●世界が称賛する日本の「お家芸」清掃活動 カタールがサポーター表彰

サッカー・ワールドカップ(W杯)カタール大会でも日本人サポーターによるスタンド清掃が世界から称賛を集めている。



ドイツから歴史的な勝利を飾った翌日の24日には、大会組織委員会が清掃活動を行った日本人サポーターを表彰し、感謝の気持ちを伝えた。海外メディアは今大会の行動を大きく報じているが、過去のW杯でも、日本人による「ごみ拾い」が脚光を浴びており、今や日本の「お家芸」になりつつある。

ちなみに27日のコスタリカ戦に敗退後も日本のサポーターは通常通り清掃を行った。

このようにサッカーを通じて「日本の価値観、文化、道徳、礼節」を世界に紹介していることは素晴らしいことである。